

「考える力」をはぐくむ授業づくり

No.79号でもお伝えしましたが、置賜教育事務所では教科研究プロジェクトチーム（5教科）を組織し、「『考える力』をはぐくむ教科指導改善研究会」による研究を進めて参りました。2月に実施されました本研究会では、教科研究員による実践交流が行われ、1年間の研究成果についてチームで共有を図りました。

研究の成果を「『考える力』をはぐくむ授業づくりのポイント」として提案します。これからの授業改善の参考にいただければと思います。

小学校 算数

学び合いを通して自分や集団の考えが発展していく、「考えることが楽しい」と思える授業に！

- 子ども自身が深く追究したくなるような場面設定や、解決の見通しの持たせ方を工夫し、「考えてみたい！」という子どもの主体的な学びにつなげる。
- 「学び合いをする目的（子ども）」と「支援の手立て（教師）」を明確にした協働的な学びの場を設定する。
- 本時のねらいと整合性がとれた適切な適用問題を設定し、子どもに本当に力が付いたのか確認する。

小学校 理科

体験と言語が織りなす自分事の問題解決を！

- 事象との出会わせ方や教師の働きかけを工夫することで、主体的に疑問や問題を見出したり、予想や仮説、検証の見通しを持ったりできるようにする。
- 友達の考えを聞いたり、自分の考えを発信したりすることを通して、自分の考えをより確かなものにするため、対話や議論を重視した授業づくりを行う。
- 科学的な用語や概念を用いて予想したり、データや科学的根拠に基づき考察したりする学習活動を大切にする。

中学校 国語

効果的な言語活動の設定と適切な評価、さらに必要に応じた指導によって学習の質の高まりを実感できる授業に！

- 学びの履歴や系統性を踏まえ、児童生徒が目的意識を持ちながら学習活動の質を高めていける課題（題材）を設定する。
- 言語活動（ともに学ぶ過程を含む）を通して、レベルアップしたことや考えが変容したことを児童生徒が理解できるように、学習の足あとを残す工夫をする。
- 「こんなことができるようになる」という単元のゴールの姿を児童生徒と共有し、適切な評価によって学習状況を把握しながら、必要に応じた指導（補説等）を行うことで、付けたい力に迫っていく。

中学校 数学

生徒の気付き、発想を生かし、
数学のよさ、学びの楽しさが味わえる授業に！

- 課題を解決する必要性を感じ、既習事項を活用しながら主体的に学びを深める課題の設定を工夫する。
- 生徒の多様な考えをつなぎ、広げ、全体で共有することで、納得感の持てる学習活動を工夫する。
- 数学的な表現を用いて的確に説明できる力を養い、共に学び合う協働的な学習を推進する。

中学校 外国語

インタラクティブな活動を取り入れた授業の創造を！

- 英語で話したくなるような必要性・必然性のある言語活動を位置付ける。
- コミュニケーション能力を伸ばすためのインタラクティブな活動を工夫する。
- ルーブリック、CAN-DO等により、学習目標を明確にするとともに、振り返りや自己評価の方法を工夫する。

今年度の取組の成果を「実践記録集」としてまとめ、置賜教育事務所HP ↓
【<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kyoiku/706003/>】にアップします。

教科研究員の先生方の実践（指導案等）も掲載しますので、ぜひご覧ください！

28年度に向けて

置賜教育事務所では、平成28年度に向け、リーフレット「おきたまの教育（学校教育指導の重点）」をリニューアルして発行します。「魅力にあふれ、安心・元気な学校」づくりを進め、「人間力に満ちあふれ山形の未来をひらく子ども」を育成するために、「考える力をはぐくむ授業づくり」「自尊感情をはぐくむ集団づくり」「健康でたくましい体づくり」をポイントとして作成しています。

28年度版は、4月にお届けします。先生方お一人に1枚ずつ配布されますので、校内研究の推進や授業づくり、集団づくり等にご活用下さい。

おきたまの教育

平成28年度置賜教育事務所

学校教育指導の重点

人間力に満ちあふれ、山形の未来をひらく人づくり つなぐ～いのち、学び、地域～

魅力にあふれ、安心・元気な学校をつくる 教職員の力を付ける

「いのち」を見つめる **子どもと向き合う** **子どもの育ちと学びをつなぐ**

- 「いのちの教育」の計画的・継続的な実践
- 思いやりの心と規範意識の育成
- 学校経営の選択と集中
- 育てたい資質・能力の共有と評価サイクルの構築
- 幼保小及び小中の連携
- 家庭・地域との連携・協働
- 「担能力」と同僚性をはぐくむ校内研修の充実
- いじめの未然防止と体罰根絶に向けた取組の推進

授業を中核に、生きぬく力をはぐくむ

考える力をはぐくむ授業づくり 自尊感情をはぐくむ集団づくり

1. 子どもの学びをつなぐ「探究型学習」の推進

- 必要感のある学びや深い思考に導くことができる課題の設定
- 精一杯考え合い、表現し合いながら協働的に問題解決する過程の充実
- 学ぶことのよさを実感できるまとめと振り返りの明確な位置付け

2. 授業改善につなぐ子ども理解の重視

- 確かな教材分析と子どもの実態に基づいた授業計画
- 子どもの姿で具体化した、一貫性のある目標・指導・評価と支援

3. 日常の実践につなぐ校内研究の充実

- 学校課題の解決に向けた次の一手の共有
- 研究の日常化を図る校内「O」Jの推進

1. 「自己指導能力」をはぐくむ生徒指導の推進

- 生徒指導の機能を生かした授業の実践
- 主体性をはぐくむ児童会・生徒会活動の工夫
- 地域とともにつくる体験活動の充実

2. いじめの根絶に向けた取組

- 機能する「学校いじめ防止基本方針」にするための評価と改善
- 児童生徒にとっての魅力ある学級づくりの推進(絆づくり、居場所づくり)
- 部活動(クラブ活動等)におけるいじめの未然防止、早期発見、適切な対応の推進

3. 道徳教育の充実

- 道徳性の育成をめざした教育活動の充実と改善
- 道徳的価値の自覚や生き方を深める授業づくり

健康でたくましい体づくり

1. 発達段階も考慮した健康・安全教育の推進

- 心身の健康を保持増進するための実践力につなぐ取組の充実
- 危険を予測し、主体的に回避できる能力をはぐくむ活動の工夫改善
- 学校と家庭・地域が連携した望ましい生活習慣の形成(生活リズム・食習慣)

2. 健やかな体をはぐくむ学校体育の充実

- 運動の楽しさや喜びを実感できる授業の推進
- 学校と家庭・地域が連携した体力づくりの工夫

特別支援教育 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進

1. 校内支援体制の充実

- 教育的ニーズの的確な把握と校内体制の強化
- 学校間及び家庭や関係機関との情報の引継ぎと連携

2. 子どもの特性に応じた指導・支援の充実

- 個別的教育支援計画を活用した継続的な支援
- 個別の指導計画に基づいた適切な教育課程の編成

3. 通常学級での指導の充実

- ユニバーサルデザインの考えを生かした学級づくり・授業づくり
- インクルーシブ教育システムの考え方を踏まえた交流及び共同学習

幼稚園教育 「生きる力」の基礎を培う 環境構成の工夫

1. 信頼される幼稚園経営の推進

- 各園の特色を大切に教育課程の編成
- 信頼される教師の育成

2. 自主性と思いやりをはぐくむ指導の充実

- 遊びを通して、自主性と思いやりをはぐくむ教育の充実
- 子どもの成長を促す教師の見取り

3. 育ちと学びをつなぐ小学校との連携

- 滑らかな幼保小連携・接続を図る関係づくり
- 幼保小連携の一層の推進